

1995年（平成7年）海外邦人援護統計

	頁
I. 事件・事故件数の推移と特徴……………	1
II. 海外邦人援護統計の推移（グラフ）……………	6
III. 海外邦人援護統計表（全世界及び地域別内訳）……………	9

平成8年4月26日

外務省 領事移住部 邦人保護課

I 事件・事故件数の推移と特徴

1. 事件・事故件数の推移総括表（在外公館よりの報告ベース）

年度	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	[参考] (注1) 海外渡航者数 (法務省入国管理局統計)
		窃盗・詐欺・強盗等の 財産犯被害	遺失 (旅券、財布等)	その他(事故・災害、 犯罪被害、疾病等)				
61	3,838件	2,278件	359件	1,201件	4,229人	239人 (内犯罪被害12人)	177人 (内犯罪被害32人)	5,516,193人 (前年比:11.5%増)
62	5,879件 (前年比:73.5%増)	3,807件 (前年比:67.1%増)	762件 (前年比:112.3%増)	1,310件 (前年比:8.3%増)	7,094人 (前年比:60.2%増)	343人 (内犯罪被害10人)	271人 (内犯罪被害51人)	6,829,338人 (前年比:23.8%増)
63	8,354件 (前年比:42.1%増)	4,911件 (前年比:29.0%増)	1,205件 (前年比:58.1%増)	2,238件 (前年比:72.0%増)	9,771人 (前年比:37.7%増)	325人 (内犯罪被害22人)	278人 (内犯罪被害52人)	8,426,867人 (前年比:23.4%増)
元	10,268件 (前年比:22.9%増)	6,128件 (前年比:24.8%増)	1,746件 (前年比:44.9%増)	2,394件 (前年比:7.0%増)	11,642人 (前年比:19.1%増)	356人 (内犯罪被害27人)	282人 (内犯罪被害59人)	9,662,752人 (前年比:14.7%増)
2	10,252件 (前年比:0.1%減)	6,226件 (前年比:1.6%増)	1,955件 (前年比:12.0%増)	2,071件 (前年比:13.5%減)	12,404人 (前年比:6.5%増)	326人 (内犯罪被害17人)	248人 (内犯罪被害63人)	10,997,431人 (前年比:13.8%増)
3	9,688件 (前年比:5.5%減)	5,690件 (前年比:8.6%減)	1,940件 (前年比:0.8%減)	2,058件 (前年比:0.6%減)	11,646人 (前年比:6.1%減)	307人 (内犯罪被害28人)	290人 (内犯罪被害109人)	10,633,777人 (前年比:3.3%減)
4	9,037件 (前年比:6.7%減)	5,369件 (前年比:5.6%減)	1,850件 (前年比:4.6%減)	1,818件 (前年比:11.7%減)	10,468人 (前年比:10.1%減)	334人 (内犯罪被害24人)	368人 (内犯罪被害78人)	11,790,699人 (前年比:10.9%増)
5	9,637件 (前年比:6.6%増)	5,269件 (前年比:1.9%減)	2,306件 (前年比:24.6%増)	2,062件 (前年比:13.4%増)	10,530人 (前年比:0.6%増)	384人 (内犯罪被害28人)	275人 (内犯罪被害98人)	11,933,620人 (前年比:1.2%増)
6	10,812件 (前年比:12.2%増)	5,578件 (前年比:5.9%増)	2,539件 (前年比:10.1%増)	2,695件 (前年比:30.6%増)	12,213人 (前年比:16.0%増)	343人 (内犯罪被害16人)	336人 (内犯罪被害119人)	13,578,934人 (前年比:13.8%増)
7 (暦年)	11,549件 (前年比:6.8%増)	5,977件 (前年比:7.2%増)	2,800件 (前年比:10.3%増)	2,772件 (前年比:2.9%増)	12,737人 (前年比:4.3%増)	379人 (内犯罪被害18人)	313人 (内犯罪被害120人)	(注2) 15,298,125人 (前年比:12.7%増)

注1: 海外渡航者数はすべて暦年

注2: 平成7年の海外渡航者数は出入国管理統計月報の数値を集計した暫定値。

死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもの他、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

2. 1995年（平成7年）の特徴

- (1) 昭和61年度に本統計調査を始めて以来、1年間の統計としてみれば、1995年は、事件・事故総件数及び総人数とも、過去最高（総件数：11,549件、総人数：12,737人）となった。
- (2) 死亡者数は379人で平成5年度の384人に次ぎ2番目に多い。死亡原因としては、疾病によるものが全体の約44%（166人）を占めており、例年通り最も多いが、特に、登山事故による死亡者が24人と急増しているのが注目される。これは昨年11月にネパールにおいて発生した2件の雪崩事故で16名の死亡者があったことによるものである。
- (3) 地域別総数では、昨年度同様、総件数及び総人数ともアジア地域が最も多く、次いで欧州地域、北米地域となっている。
- (4) 近年、邦人が被害者となるケースのみならず、現地の法令に違反するなど「犯罪加害」者となる案件も増えており（犯罪加害の内訳はP9参照）、1995年の同件数は312件（365人）。特に、麻薬関連の犯罪が55件、71人（因みに平成6年度は36件、41人）で急増している。
- (5) 精神障害者関連の援護は、件数ベースではさほど多くはないが、1件の処理に数週間を要するケースもあり、特に北米、欧州公館では件数が多い。（P9, P11, P13参照）
- (6) これら援護件数、海外渡航者数の増加の中で、全在外約180公館の領事業務担当人員の総数は、公館警備、文化等の兼任者も含め約340名（平成7年度）であるが、遺漏なきを期するために一層の体制強化が望まれる。

<件数>

	総件数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中近東	アフリカ	
事故・災害	309	内	108	85	12	46	34	10	14	
犯罪加害	312		176	61	5	56	5	1	8	
犯罪被害	6,148		1,889	1,210	260	2,346	242	44	157	
疾病	372		204	52	12	63	14	5	22	
行方不明	156		82	21	4	43	4	2	0	
その他	4,252		訳	1,600	1,183	107	1,102	197	32	31
総数	11,549			4,059	2,612	400	3,656	496	94	232

<人数>

	総人数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中近東	アフリカ	
事故・災害	507	内	179	128	23	86	48	11	32	
犯罪加害	365		195	76	9	69	5	1	10	
犯罪被害	6,766		2,053	1,398	298	2,517	282	47	171	
疾病	532		206	52	12	221	14	5	22	
行方不明	160		84	21	4	45	4	2	0	
その他	4,407		訳	1,633	1,255	126	1,125	201	34	33
総数	12,737			4,350	2,930	472	4,063	554	100	268
内、死亡者数(人)	379		179	109	11	42	22	4	12	
同、負傷者数(人)	313		99	67	16	77	27	6	21	

(6) 取扱件数の多い在外公館上位20公館

在外公館名	件数	在外公館名	件数
1. 在タイ大使館	809件	11. 在ミラノ総領事館	311件
2. 在ロンドン総領事館	707件	12. 在スペイン大使館	270件
3. 在東京総領事館	625件	13. 在サンフランシスコ総領事館	261件
4. 在香港総領事館	613件	14. 在中国大使館	248件
5. 在韩国大使館	568件	15. 在上海総領事館	237件
6. 在フランス大使館	474件	16. 在ベルリン総領事館	199件
7. 在イタリア大使館	451件	17. 在シドニー総領事館	184件
8. 在ホノルル総領事館	444件	18. 在シンガポール大使館	174件
9. 在マニラ総領事館	361件	19. 在ジャカルタ総領事館	164件
10. 在ニューヨーク総領事館	348件	20. 在バルセロナ総領事館	164件

3. 平成7年（1995年）の主な事件・事故の概要

(1) 事故等の主な事例

- 航空機事故：平成7年9月2日 米国アリゾナ州モヘビ郡において、小型双発機が墜落、邦人乗客4名を含む乗員乗客8名全員が死亡。
- 平成7年12月20日 米国マイアミ発コロンビア国カリ行きの旅客機がカリ到着直前に墜落し、邦人乗客1名が死亡。
- 登山事故：平成7年11月10日 ネパール国ソルクンプ地方パンガにおいて雪崩が発生し、トレッキング中の邦人13名が死亡。
- 平成7年11月10日 ネパール国東部のパンベマにおいて雪崩が発生し、トレッキング中の邦人3名が死亡。
- 武力衝突等：平成7年2月8日 ミャンマー国の少数民族のカレン族の独立運動に参加中の邦人1名が、タイ・ミャンマー国境付近で、戦闘中にミャンマー軍の砲弾の直撃を受け死亡。

(2) 犯罪加害事例の事項別の特徴と主な事例

- 出入国・査証関係：不法滞在、不法就労により逮捕され、退去強制された邦人が主。
- その他：飲酒運転、スピード違反等の道路交通法違反による逮捕が主。

(3) 犯罪被害事例の事項別の特徴と主な事例

- 殺人・同未遂：平成7年（1995年）中に邦人が巻き込まれた主な殺人事件一覧参照（次頁）。
- 誘拐：トルコ南東部ビトリス県内の幹線道路上をバスで移動中に過激派からの襲撃を受け誘拐された。同人は事件発生から4日後、自力で脱出し保安軍に保護された。
- 窃盗：窃盗被害の主な手口及び態様は次の通り。
- 置き引き：空港（ホテルロビー、レストラン等）で目を離した隙に足下のバッグ等を盗まれる。
 - スリ：地下鉄（バス）等の人混みの中でバッグ等から財布、旅券を盗まれた。
 - 車上狙い：駐車場等に止めておいた車のガラスを割られ、車内を荒らされ、貴重品を盗まれる。
 - 空き巣：外出中に、ホテルの自室に置いていた貴重品を盗まれる。
- 強盗：強盗被害の主な手口及び態様は次の通り。
- 睡眠薬強盗：公園等において見知らぬ外国人に飲み物を勧められ飲んだところ、意識を失い、気が付くと所持品が無くなっていた。
 - 引ったくり：外国人数人のグループに囲まれ、無理矢理バッグを引ったくられる。
 - 詐欺：いかさま賭博（カード賭博）による被害事例が東南アジア地域において多発している。

(4) その他

- 行方不明：旅行中の家族が帰国予定日になっても帰国しない等の照会が大半。殆どのケースはその後本人から連絡があり無事が確認されている。
- 遺失：タクシー内に置き忘れる、ポケットから落とす等の本人の不注意によるものが大半。
- 所在調査：遺産相続、土地の登記、道路用地買収等により、海外に転居した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法第23条の2による照会、官公庁及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

1995年の主な緊急 態事例

(必ずしも邦人が巻き込まれたものではない)

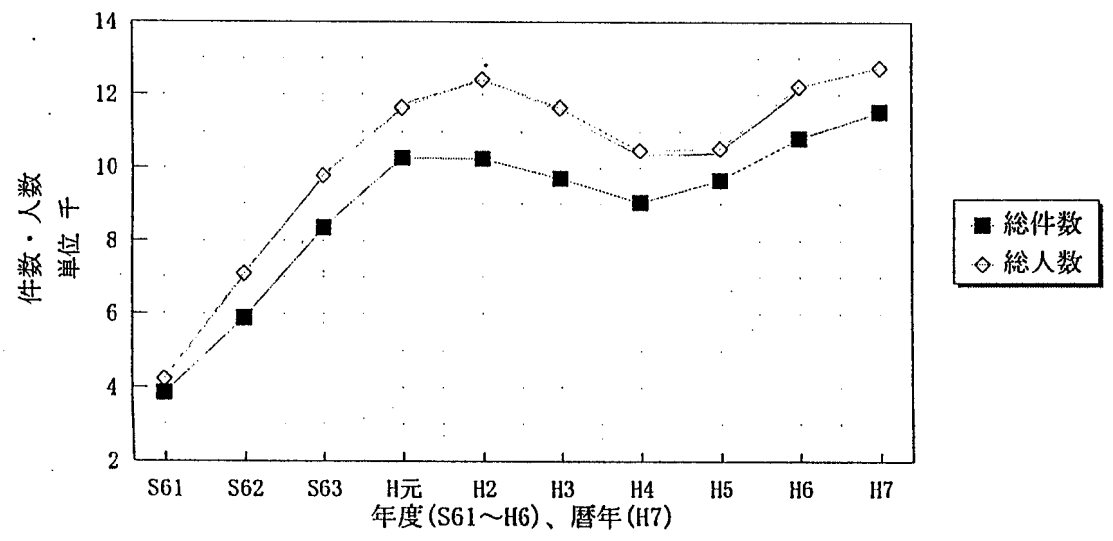
国名	緊急事態の内容	発生日
ペルー、エクアドル	両国間の国境地域をめぐる武力衝突が発生	1. 11
シェラ・レオーネ	反政府グループと政府軍との戦闘が全国的規模に拡大、首都も緊張	2. 1
ミャンマー	少数民族カレン族の独立運動	2. 8
パキスタン	在カラチ米国総領事館員殺害事件の発生	3. 8
バハレーン	シーア派系失業者によるデモ騒動の頻発	3. 20
ボリヴィア	労働組合を中心とした勢力によるデモ等の激化により、戒厳令布告	4. 18
ネパール	野党デモ隊による騒動	5. 4
旧ユーゴスラビア	クロアチア民族対立の激化	5. 4
カタール	皇太子の権力奪取	5. 30
ネパール	全国ゼネストの実施に伴う騒動	8. 1
サント・プリンス	軍によるクーデター発生、空港、港湾の閉鎖等	8. 15
コロンビア	国内騒乱事態宣言の発令	8. 16
仏領ポリネシア (タヒチ)	核実験反対デモが暴動化	9. 6
コモロ	外国人傭兵の反乱	9. 28
インド (アッサム)	分離主義過激派によるテロ活動発生	10. 3
インドネシア (スバヤ市)	スバヤ市における小規模暴動の発生	10. 6
ジンバブエ	警察官の発砲に端を発する暴動の発生	11. 3
スリランカ (北部・東部州)	政府とタミル系過激派 (LTTE) との戦闘、ゲリラ活動の活発化	11. 17
スリランカ (北部・東部州を除く地域)	一部地域において非常事態宣言が施行されている他、コロンボにおいては爆弾テロ事件が発生	11. 17
バングラデシュ	総選挙をめぐる与野党の対立、野党勢力によるゼネスト、デモ等の反政府活動の活発化	12. 13
リトアニア	ハニシュ島の領有権を巡る軍事衝突	12. 28

1995年に邦人が巻き込まれた主な殺人事件

件番	人数	発生日	発生国	内容
1	1	95/01/15	米国	米国サイパンの日系企業に勤務する邦人男性駐在員が、同企業事務所内にて刺殺された。
2	1	95/02/06	米国	米国コロラド州ボルダー市近郊アーリー町の放牧地で、邦人女性 (留学生) の遺体が発見された。
3	1	95/03/21	ウルグアイ	ウルグアイ国モンテビデオ市郊外の自宅前に車を止め、邦人男性移住者が荷物を降ろしている時に二人組の強盗に襲われ、胸部を銃で撃たれ死亡した。
4	1	95/06/17	フィリピン	フィリピン国セブ市郊外において、邦人男性旅行者が殺害され、現地警察に射殺体で発見される。
5	1	95/08/16	ケニア	ケニア国ナイロビ市郊外において、日本人学校長が同日本人学校門前で、強盗に襲われ銃で撃たれ死亡した。
6	1	95/08/30	マレーシア	マレーシア国クアラランパウル市郊外に在住する邦系企業駐在員夫人が、自宅において殺害されているのを帰宅した長男が発見された。
7	1	95/09/17	フランス	フランス国エクサンプロヴァンス近郊サンアントナン村から数キロ離れた森の中で、邦人女性旅行者が遺体で発見された。公安当局は殺人事件として捜査している。
8	1	95/09/19	フィリピン	フィリピン国ミンダナオ島ザンボアンガ市近郊において、邦人男性旅行者が刺殺されているのが発見された。
9	1	95/09/30	フィリピン	フィリピン国ルソン島中部のカバナツアン市に在留する邦人男性が、自宅において刺殺されているのが発見された。
10	1	95/10/11	フランス	フランス国ユネスコ本部の邦人女性駐在員が、自宅において刺殺されているのが発見された。
11	2	95/10/11	ブラジル	ブラジル国バイア州ウナ市において、農場経営する邦人移住者家族3名 (内1名はブラジル国籍) が、強盗に襲われ射殺されているのを、母屋を訪れた次男が発見した。
12	1	95/11/03	米国	米国デトロイト市に在住する邦人女性が、子供をアパートの池に投げ入れ殺害したとして、警察当局に逮捕された。
13	1	95/11/25	米国	米国ニューヨーク市に在住する邦人男性が、その息子により首の骨を折られ殺害された。
14	1	95/12/18	パラグアイ	パラグアイ国ピラボ市に移住した邦人男性が、自宅近くの水場で刃物により殺害されているのが発見された。

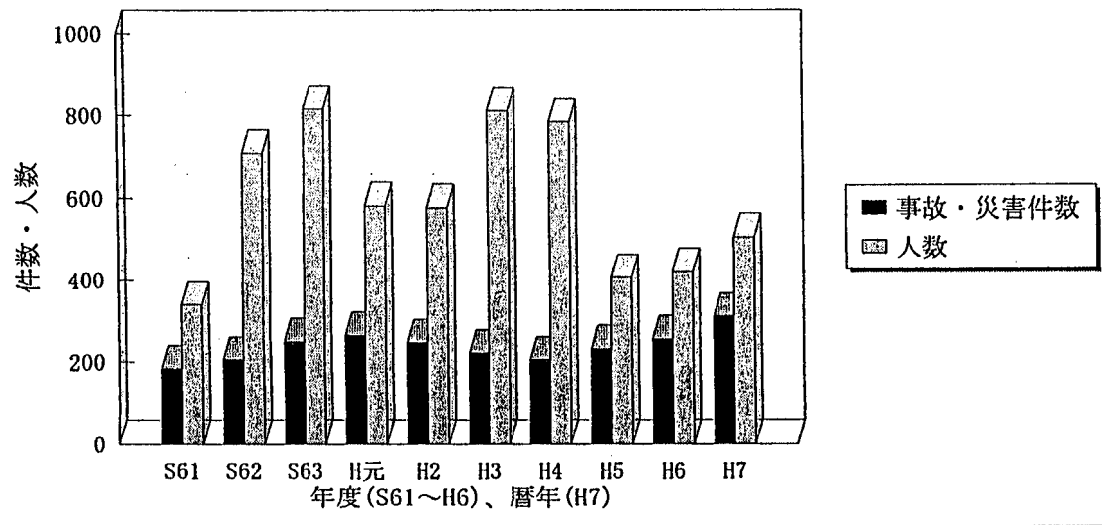
(注) この他にも強盗に遭う過程で運悪く死に至ったケースがあるがこれはこの「殺人事件」の表には入れていない。

邦人援護総件数・人数



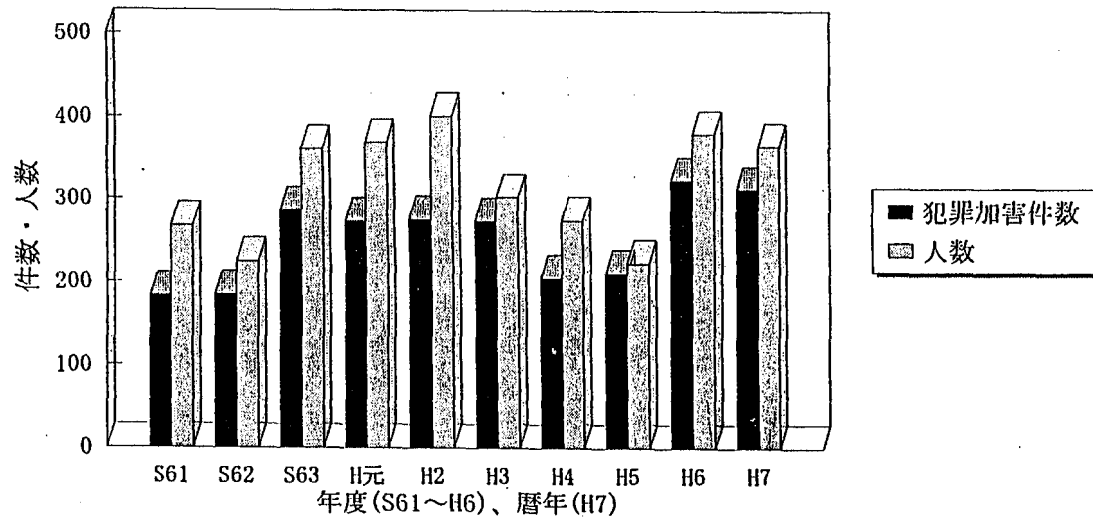
	総件数	総人数
S61	3838	4229
S62	5879	7094
S63	8354	9771
H元	10268	11642
H2	10252	12404
H3	9688	11646
H4	9037	10468
H5	9637	10530
H6	10812	12213
H7	11549	12737

事故・災害



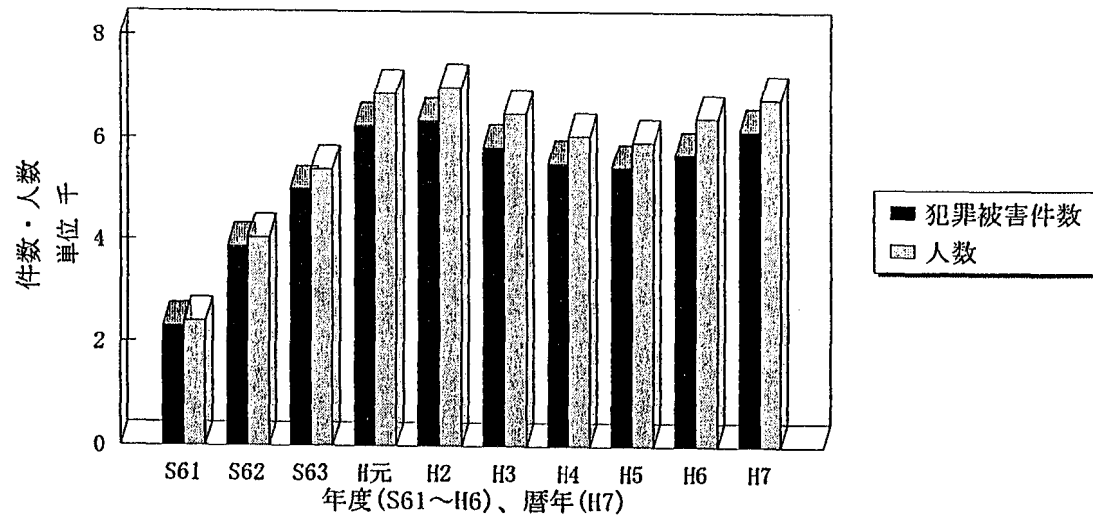
	事故・災害件数	人数
S61	183	339
S62	204	708
S63	248	816
H元	264	582
H2	246	577
H3	220	811
H4	204	784
H5	231	407
H6	254	422
H7	309	507

犯罪加害



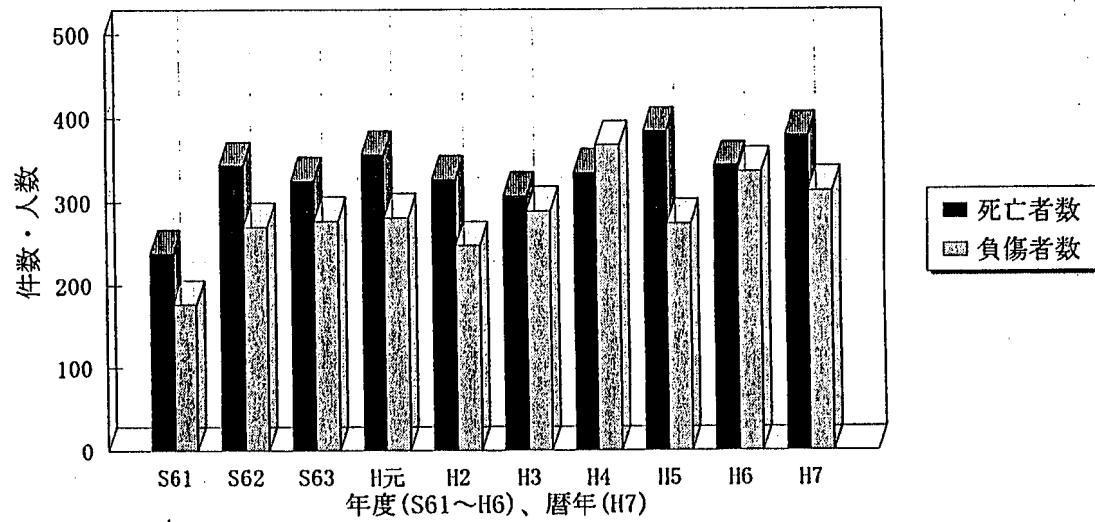
	犯罪加害件数	人数
S61	183	267
S62	184	224
S63	286	361
H元	273	369
H2	275	401
H3	273	302
H4	205	274
H5	211	223
H6	323	380
H7	312	365

犯罪被害



	犯罪被害件数	人数
S61	2307	2413
S62	3862	4040
S63	4979	5382
H元	6234	6869
H2	6339	6981
H3	5825	6483
H4	5510	6044
H5	5428	5919
H6	5680	6396
H7	6148	6766

死亡者・負傷者



	死亡者数	負傷者数
S61	239	177
S62	343	271
S63	325	278
H元	356	282
H2	326	248
H3	307	290
H4	334	368
H5	384	275
H6	343	336
H7	379	313

Ⅲ. 海外邦人援護統計（発生原因別）1995年

全世界

I. 事故・災害					II. 犯罪										III. その他									
					加害					被害														
コード	件名	件数	人数	死亡	負傷	コード	件名	件数	人数	死亡	負傷	コード	件名	件数	人数	死亡	負傷	コード	件名	件数	人数	死亡	負傷	
100	航空機事故	2	5	5	0	1201	出入国・査証関係犯罪	87	104			1301	殺人・同未遂	14	15	15	0	1400	疾病	372	532	166	2	
200	列車事故	4	6	1	5	1202	殺人・同未遂	2	2			1302	傷害・暴行	55	64	0	40	1500	精神障害	165	166	0	1	
300	登山事故	16	38	24	7	1203	傷害・暴行	20	20			1303	誘拐	5	5	0	0	1600	自殺・同未遂	41	41	29	3	
400	水難事故	29	31	25	0	1204	脅迫・恐喝	0	0			1304	脅迫・恐喝	54	60	0	1	1700	行方不明	156	160	0	0	
500	レジャースポーツ事故	25	26	10	9	1205	強姦・同未遂・同致死傷、 強制猥褻・同未遂	5	5			1305	強姦・同未遂・同致死傷、 強制猥褻・同未遂	14	15	0	4	1800	困窮	110	112	0	0	
600	作業事故	9	9	2	4	1206	強盗・同未遂・同致死傷	0	0			1306	強盗・同未遂・同致死傷	401	462	2	74	1900	遺失	2800	2888	0	0	
700	自動車事故	158	276	66	144	1207	窃盗	31	33			1307	窃盗	5344	5875	0	0	2000	出入国・査証関係	231	246	0	0	
800	船舶事故	11	52	1	1	1208	詐欺	23	29			1308	詐欺	232	238	0	0	2100	拾得物返還	224	225	0	0	
900	その他事故	40	41	16	14	1209	麻薬	55	71			1309	テロ	1	2	0	0	2200	受刑者援助	40	43	0	0	
1001	地震	1	2	0	0	1210	銃刀砲	5	6			1310	その他	28	30	1	1	2300	所在調査	184	228	0	0	
1002	火災	9	15	0	2	1211	外為法・関税法	18	19									2400	その他	457	458	13	1	
1003	風水害	2	3	2	0	1212	買・売春	6	6															
1100	戦闘、暴動	3	3	1	0	1213	その他	60	70															

